

# 新年賀謹

## 「魅力のあるまち」を目指して



潮来市長  
原 浩道

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より市政に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

多くの市民の皆様にご支援を賜りまして、潮来市の舵取り役として、邁進してまいりましたが、早いもので、4年が経過しようとしております。これからも、市民の皆様のご期待に添えるよう誠心誠意、行政運営に取り組んでいきたいと思っております。

現在、潮来市第7次総合計画の策定を進めているところです。急速に進む人口減少や高齢化は、まちづくりを考えるうえで、避けては通れないものとなっております。地域の産業やコミュニティ、更には、社会保険など、さまざまな分野で新たな課題が発生しつつあります。

このような状況下、行政コストの適正化に努め、必要な行政サービスは確保しながら、安心・安全なまちづくりに取り組んでまいります。潮来市は、行政規模が小規模

でありますが、それを生かし、若い市民の皆様が、まちづくりに参加しやすい仕組みを作っていく、市民一人ひとりが、世代を超えてお互いに支え合えるまちを目指していききたいと思います。

今後、東関東自動車道が延伸されることにより、これまで以上に生活圏域が広域化していくことが予想されます。これからは、東関東自動車道を軸として、潮来IC周辺の整備に努め、併せて、観光拠点として道の駅いたこの充実を図ります。また、近隣自治体との、相互依存の関係が、より強くなることを想定し、広域路線バスの運行など、地域における将来的な役割を見極め、雇用の創出や、移住者を迎え入れられるような政策を展開し、将来見込まれる、人口減少や高齢化に対応していくために、市民の皆様のご利便性を確保するまちづくりを推進していかなければならないと考えます。

さて、今年で68回目となる「水郷潮来あやめまつり」におきましては、昭和30年代頃まで水郷地域で行われていた嫁入り風景を再現した「嫁入り舟」に、「人力車」を取り入れ、更に、古民家「水郷旧家磯山邸」と、現在、整備中であります津軽河岸あと広場や石蔵を活用し、前川を中心とした通年型の観光を目指しております。潮来にお越しいただいたお客様に水郷潮来の風情を堪能していただければと思います。

次に、いよいよ今年は、「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されます。本市では、

ボート競技、トライアスロン、オープンウォータースイミングの3種目の開催会場になっていきます。市全体の気運の醸成を図りながら、茨城国体の成功に向けて頑張っていきたいと思っております。本市は、水郷地域であるため、古くから水辺と共生しながら暮らしを紡いできた環境であり、その大切な地域資源である水郷の原風景を将来に向けて継承していかなければなりません。ボート競技をはじめとするスポーツやレクリエーションの拠点として、資源を守りながら水辺の整備に努めてまいりたいと思っております。

市内自治会の加入率が低下している現状にあります。防災や防犯活動には地域のコミュニティ組織抜きでは成り立たなくなってしまうので、自治会等の体制強化に努め、安全で安心なまちづくりを推進してまいりたいと思っております。

私は、潮来市には潜在的な力があると信じております。「住みたいまち潮来」の実現のため、市民の皆様と同じ目線に立ち、対話と協調による、真に開かれた市政運営をすすめる、魅力あるまちづくりを目指し、取り組んでまいります。

ぜひ、魅力と活力にあふれた「住みたいまち潮来」の実現のため、皆様のなお一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますことを心からご祈念申し上げます、ごあいさついたします。